

(7) 利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等 への対応	利用者が投書しやすい場所に「みなさまの声」(意見箱)を常設したほか、「利用者アンケート」を実施し、利用者からご意見やご要望をいただいた。ご意見等への回答については施設内に掲示し、わかりやすく周知した。また、日々の業務において、口頭での要望や意見もいただくこともあり、その都度、職員会議で検討し改善に努めた。 利用者からの意見として、囲碁の利用を1回ではなく、何回もできるようにして欲しいとのご意見をいただいた。ガイドラインに基づき運営を行いながら、ステップ3の段階となった際に、感染防止対策を講じながら、1回以上囲碁が楽しめるよう環境の整備を行った。
(8) その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
介護予防と健康づくりの促進	栄養士による健康づくりの講話を11月に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催について、保健センターに相談し、結果として今年度は中止とした。来年度以降の開催について、先方と状況を逐一確認しながら、安全に配慮して実施できるよう計画していく。
生きがいづくりの支援	高齢者が諸活動への参加をと おして円滑に仲間づくりができるよう、場の設定及び活動の支援を行った。新型コロナウイルス感染対策も十分に行い、利用する方がいつ来館しても安心して過ごせるように環境整備や消毒に努めた。
支え合う活力あるまちづくりの促進	新型コロナウイルス感染予防を徹底し、中央区の花づくりのイベントにボランティアとともに参加した。例年利用者の方にお声掛けを行い、多くの方々と一緒に参加していたが、コロナ禍ということもあり、今年度は参加者がほとんど集まらなかった。
児童とのふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供	児童との交流イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至らなかったが、その他の活動や日常の関わりやふれあいをとおして、高齢者が活躍できる場の設定及び活動の支援を行った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

<p>新型コロナ感染拡大予防のため、施設が休館となったり、また、利用再開時においても、さいたま市の「高齢福祉課所管市民利用施設に係る利用再開ガイドライン」に基づいた運営であったため、団体利用を受けられない1年間だった。与野本町老人憩いの家は、団体利用が大多数を占める施設のため、ほぼ1年間利用していただくことができなかった。それでも、団体の予約のために代表の方が毎月来館しては、皆さん憩いの家の団体利用の再開できる日を待っているとの声をいただいた。児童センターと併設であるという事もあり、感染を心配される利用者の方もいたので、団体利用再開の際には、なるべく児童と行き来が重ならないように動線を考え、受付の場所を変更するなど、団体利用の再開に備え、安全に利用していただけるようシミュレーション等を行った。また、密にならないよう部屋の定員を半分にするなど、感染対策を講じた。個人利用をされる方に対しては、パーテーションを設置し、換気に気をつけて対応した。使用した基石、机等はその都度消毒し、いつ来館されても利用者の皆さんが安心、安全に過ごせるように努めた。まだまだ、収束の見えない状況ではあるが、地域で支えあい、憩いの家の活動をとおして高齢者の生きがい、やりがい、活躍の場となるように令和3年度も取り組んでいきたい。</p>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A～D

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組】

日常的に施設に対する意見や要望を伝えられる仕組みとして、利用者が使いやすい場所に「みなさまの声」ボックス(意見箱)を設置しサービスの向上に努めた点を評価した。

【経費の削減に関する取組】

支出削減を図った点を評価した。

【適正な管理運営の確保に対する取組】

定期的に施設設備・備品の安全点検を実施しに加え、災害用備蓄品をはじめとした必要備品の補充と各所の補修、修繕を計画的に行い、安定した施設運営に努めた点を評価した。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。